

3月定例会 一般質問日程 3日目

計15人

月日・開議時刻	発言順	発 言 者	通告時間
【1日目】 3月3日（月曜日） 午前10時 5人	1	辻 谷 洋 一	20分
	2	竹 内 秀太郎	20分
	3	中 村 今朝子	30分
	4	林 孝 彦	20分
	5	一 志 信一郎	20分
【2日目】 3月4日（火曜日） 午前10時 5人	6	内 川 集 雄	20分
	7	岡 村 典 明	20分
	8	井 出 勝 正	20分
	9	矢 澤 毅 彦	30分
	10	猪 狩 久美子	20分
【3日目】 3月5日（水曜日） 午前10時 5人	11	臼 井 泰 彦	20分
	12	増 田 望三郎	20分
	13	小 林 純 子	20分
	14	増 井 裕 壽	20分
	15	橋 本 裕 二	20分

提出順	12	発言順	11	令和 7 年 2 月 19 日
			午前・午後	8 時 55 分受領

(3 枚中No. /)

2025年 2月19日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	20分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☒ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	敗戦後80年、平和への力強い歩みを		
質問の要旨（具体的に記載してください） 安曇野市は、どのような思いを持って 戦後 80 年平和事業を行うのか。そこには、80 年前の戦争の認識の上に立った、敗戦後の 80 年間に対する認識、それを元にした未来の平和への展望があると考え。 (1) 80 年前の日本の戦争と植民地支配をどう認識しているのか。 日清戦争、日露戦争、満州事変、日中戦争、アジア・太平洋戦争 (2) 敗戦後 80 年間で現在をどう認識するのか。 ○ポツダム宣言、国連憲章、日本国憲法 ○河野洋平官房長官の日本軍「慰安婦」問題についての談話(1993年)、細川護熙首相の過去の日本の戦争を「侵略戦争」とする認識の表明(1993年)、村山富市首相の日本の「植民地支配と侵略」によって多大な損害と苦痛を与えたという談話(1995年)、「日本の韓国に対する植民地支配への反省」という「日韓パートナーシップ宣言」(1998年) ○日中共同声明(2008年)、日中間の意見の一致(2014年)、第27回 ASEAN+3(日中韓)首脳会議の石破首相の発言(2024年) ○集団的自衛権行使容認の閣議決定(2014年)と安保関連法(2015年)、安保3文書の閣議決定(2022年) ○「2027年度より後も抜本的に軍事力を強化していく」「日米同盟の抑止力と対処力をさらに強化していく」とした石破首相とトランプ大統領との日米共同声明			

提出順	12	発言順	11	令和 7 年 2 月 19 日
				午前・午後 8 時 55 分受領

(3 枚中No. 2)

2025年 2月19日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☒ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	敗戦後80年、平和への力強い歩みを		

(3) 今後、安曇野市と日本は、平和をどのようにつくっていくべきか。どのような平和な未来を目指すのか。

(4) 以上の認識と意思の上に戦後80年平和事業をどのように位置付け、今後にどうつなげていくのか。

○映画「ひろしま」上映会、知覧特攻平和会館出張講話、企画展「日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々」、安曇野市平和学習広島平和記念式典参加事業成果発表会及び平和トークディスカッション、企画展・文書館後期企画展「手記80年の時を超えて」

○被爆ピアノコンサート

○戦没者追悼式

提出順	12	発言順	11	令和 7 年 2 月 19 日 午前・午後 8 時 55 分受領
-----	----	-----	----	-------------------------------------

(3 枚中No.3)

2025年 2月19日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☒ 政策部 ☒ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	安曇野市「歩行者安全・安心運転宣言」を		

質問の要旨（具体的に記載してください）

市内の道路は、歩道のない道路がほとんどである。歩行者が安全で安心して歩行できるように、特に自動車の運転者が交通弱者である歩行者を守る意識を高めて、交通事故を無くすために、安曇野市として「歩行者安全・安心、運転宣言」を発してもらいたい。

具体的には、信号機のない横断歩道で、横断する歩行者がいれば自動車は100%一時停止をする安曇野市を目指す。長野県では、「横断歩道ルール・マナーアッププロジェクト」に取り組んでいるが、安曇野市独自でも取り組み、さらに、歩道のない道路で自動車が歩行者の横を通過するときは、歩行者が脅威を感じない程度の速度で歩行者との側方間隔を取る安曇野市を目指す。

また、安曇野ナンバーとなる4市町村一体となって「歩行者安全・安心、運転宣言」をして、安曇野ナンバーに、自動車運転者は「歩行者安全・安心」意識が極めて高いというイメージも入れ込んでいく。

提出順	11	発言順	12	令和 7 年 2 月 18 日
			午前・午後	9 時 40 分受領

(2 枚中 No. 1)

令和 7 年 2 月 18 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市長 副市長 ☒ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☒ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	安曇野市の学校給食 ～地産地消と環境にやさしい給食の観点から～		

質問の要旨（具体的に記載してください）

豊かな農業資源を有する安曇野市において学校給食における地産地消の推進は、地域経済の活性化や食育の充実、地域の農業振興に寄与する重要な取り組みである。また、「環境にやさしい給食」の推進は、食の安全・安心の確保、農村環境での豊かな生態系の維持、地球環境への負荷軽減にもつながる。本市はどのように取り組んでいくのか質問する。

1. 地産地消の推進

- ・各給食センターにおける域内生産（県、市）の食材数の割合は増えているか。
- ・地産地消を進めるには何が課題か。
- ・献立作成委員会、物資調達選定委員会ではどのような議論をするのか。
- ・地産地消を更に進めるには、生産者と給食センターを繋ぐ地産地消コーディネーターの配置を。

2. 環境にやさしい給食とは

- ・市の行う「環境にやさしい給食」とはどんなものか。なぜ実施するのか。
- ・児童生徒の理解が進むには。
- ・今後もどのように取り組んでいくのか。

3. 給食の地産地消、環境にやさしい給食、無償化について市長、教育長の見解を

提出順	11	発言順	12	令和 7 年 2 月 18 日
			午前 午後	9 時 40 分受領

(2 枚中No. 2)

令和 7 年 2 月 1 8 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 田 望三郎

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☒ 総務部 ☒ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☒ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	地域経済を活性化する観光施設整備 ～新たな官民連携の事業手法のチャレンジ～		
質問の要旨（具体的に記載してください） 厳しい財政状況や人口減少、公共施設の老朽化などに直面しながら、活気ある地域経済を実現することは、多くの地方公共団体にとって共通の課題である。こうした状況の中で、官民のパートナーシップ「PPP (Public Private Partnership)」、その代表的な手法である「PFI (Private Finance Initiative)」が注目されている。従来の業務委託や指定管理者制度では実現できない地域経済活性化のための官民連携のあり方を、市としてもチャレンジしていく時ではないか。... 本市における 2 つの施設整備（東部アウトドア拠点センターハウス、等々力家）を通じて、この点を議論する。... 1、これらの施設は観光振興を目的とした観光拠点として整備するのか。 2、地域経済を活性化するため、収益性の高い観光施設を目指しているのか。 3、それは従来の民間活力の生かし方（委託や指定管理）で達成できるのか。 4、新たな官民連携のあり方・事業手法にチャレンジを。			

提出順	15	発言順	13	令和 7 年 2 月 19 日
				午前・午後 11 時 41 分受領

(3 枚中 No. 1)

令和 7 年 2 月 19 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市長 ☐ 副市長 ☒ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	新たなシックハウス・シックスクールの原因＝「香害」にもっと踏み込んだ対策を		
質問の要旨（具体的に記載してください） 「香害」とは、柔軟剤や香り付き合成洗剤、除菌・消臭剤などに含まれる有害な化学物質によって引き起こされる健康被害のこと。その症状は、頭痛、吐き気、思考力低下、咳、疲労感、めまい、呼吸困難など多岐にわたる。これら「香害」の健康被害は、建築材料等に由来する化学物質によって室内空気が汚染されることで発症するシックハウス・シックスクール症候群の枠組みで捉えることができる。 以前は、建材や備品等から放散する VOC（揮発性有機化合物）が原因物質となっていたが、これらの使用規制が徹底されてきた現在では、人の体や衣類等に付着して屋内に持ち込まれる柔軟剤、合成洗剤、除菌消臭剤、制汗剤等の成分から揮発する VOC がシックハウス・シックスクール＝「香害」の原因となっている。 従来の室内環境の検査では測定していない TVOC（総揮発性有機化合物）について、昨年 11 月～12 月にかけて、市役所本庁舎と「香害」で校舎内に入れない生徒が在籍する中学校で、参考測定値としてデータを取って見たところ、いずれも厚労省の暫定目標値を超えており、シックハウス・シックスクールの危険性が危惧される状況であった。 シックハウス・シックスクールの影響を受けやすい子どもたちの施設（学校、保育所、幼稚園、児童館、児童クラブ等）や、多くの市民が利用する市役所、図書館、公民館、体育館等の公共施設は、利用者はもちろんのことそこで働く人達のためにも、「香害」に起因するシックハウス・シックスクールの対策が求められている。 そこで、以下に質問する。 1、 TVOC とホルムアルデヒドの参考測定値データを学校環境衛生基準と比較すると、市の小			

提出順	15	発言順	13	令和 7 年 2 月 19 日
				午前・午後 11 時 41 分受領

(3 枚中 No. 2)

令和 7 年 2 月 19 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市長 ☐ 副市長 ☒ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	新たなシックハウス・シックスクールの原因＝「香害」に もっと踏み込んだ対策を		
中学校の空気環境はシックスクールのおそれがあるので、しっかりとした調査を行うべきではないか。 2、 「香害」やシックスクールの影響を受けて、登校が困難になっている児童生徒や関係者がいる学校では、「健康的な環境で教育を受ける権利」を守るため、教職員には柔軟剤と合成洗剤を使わないよう、教育委員会は指導すべきではないか。 3、 TVOC とホルムアルデヒドの参考測定値データを建築物環境衛生管理基準と比較すると、市役所の空気環境はシックハウスのおそれがあるので、しっかりとした調査を行うべきではないか。 4、 「香害」やシックハウスの影響を受けて、市役所や図書館、公民館、体育館等の公共施設を利用できない、利用しにくいという市民のために、また自らの職場環境を良好に保つために、市職員、施設関係者は柔軟剤と合成洗剤を使わないようにすべきではないか。 5、 学校、市役所や公共施設では、柔軟剤や香り付け製品の化学物質の影響（香害）を無視できない状況なので、従来の空気環境調査に TVOC（総揮発性有機化合物）と浮遊粉塵の測定を加えて、香害やシックスクール・シックハウスの予防につなげるべきではないか。 6、 香害やシックスクール・シックハウスの予防のため、基本的な取り組みの強化について。			

提出順	15	発言順	13	令和 7 年 2 月 19 日
			午前・午後	11 時 41 分受領

(3 枚中No. 3)

令和 7 年 2 月 19 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	入湯税を目的税として政策的に活用するために		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 入湯税とは、鉱泉浴場が所在する市町村において、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備、観光振興(観光施設の整備を含む)に要する費用に充てるために課税される「目的税」である。 しかし、じっさいのところ、入湯税の使途は市が後付で割り振りした数値が示されているだけで、政策的に活用しようとする姿勢は見えない。 安曇野市にとって温泉の存在は貴重であり、地域振興の重要な資源である。その資源が生きる方向で、入湯税の使い方を考える必要がある。 そこで、以下に質問する。 1、安曇野市の入湯税収入とその使途の動向について 2、入湯税を目的税として政策的に活用するために、条例で使い方を定めた基金を設置してはどうか			

提出順	10	発言順	14	令和 7 年 2 月 14 日
				午前・午後 4 時 24 分受領

(3 枚中No. 1)

令和 7 年 2 月 1 4 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	2 0 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☒ 政策部 ☐ 市民生活部 ☒ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☒ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	スマホ市役所について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

スマホ市役所について、以下の質問をする。

- ・ 安曇野市のデジタル化の推進について
- ・ スーパーファストパス方式による給付金申請サービスについて
- ・ メール配信情報のLINE配信について
- ・ 公共施設へのスマートロック導入について
- ・ 公園の傷み、不法投棄、有害鳥獣出没情報のLINE配信について

提出順	10	発言順	14	令和 7 年 2 月 14 日
				午前・午後 4 時 24 分受領

(3 枚中No.2)

令和 7 年 2 月 1 4 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☒ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☒ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	再生可能エネルギーによる地域の活性化について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 再生可能エネルギーによる地域の活性化について、以下の質問をする。 ・ 再生可能エネルギーの推進について ・ ペロブスカイト太陽電池の導入について ・ 農業用水路を活用した小水力発電の可能性について ・ もみ殻の有効活用の推進について			

提出順	10	発言順	14	令和 7 年 2 月 14 日
				午前・午後 4 時 24 分受領

(3 枚中No. 3)

令和 7 年 2 月 1 4 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☒ 都市建設部 ☒ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	トレーラー型移動式水洗トイレの導入について		
質問の要旨（具体的に記載してください） トレーラー型移動式水洗トイレの導入について、以下の質問をする。 ・災害時に避難所等へ移動すると市民が混乱する可能性がある。という点 ・災害時は上下水道が使えず、汚水タンクが満杯になるとくみ取りが必要。という点 ・携帯トイレや組立て式トイレの備蓄と同時に！（黒沢洞合自然公園等）			

提出順	7	発言順	15	令和 7 年 2 月 13 日	
				午前・午後	8 時 39 分受領

(1 枚中No. 1)

令和 7 年 2 月 13 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 橋 本 裕 二

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☒ 総務部 ☒ 政策部 ☒ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	少子化への危機感と対策は十分だろうか		
質問の要旨 (具体的に記載してください)			
1. 2024 年の出生数は。最新の合計特殊出生率は。最新の平均年齢は。			
2. 市が目標にしている合計特殊出生率 2.07 を仮に現時点で実現しようとするれば、年間出生数は何人必要か。2024 年出生数の何倍か。			
3. これらの結果に対する率直な感想を。			
4. 全世帯に占める、「子どもが 3 人以上いる世帯の割合」の長期推移はどうか。			
5. 合計特殊出生率 2.07 を達成するまでの間、3 人以上の子を扶養している世帯に対し固定資産税を免除するなど、多子世帯を応援し増やすための大胆なインセンティブ (刺激策) を用意する必要があるのでは。			
6. 少子化問題について、対策と展望を伺う。			